

爽風

そ う ふ う

神戸市シルバーカレッジ情報誌
2023年7月 第217号



「神戸市シルバーカレッジ学舎」 絵画ボランティアグループ 美工28期 昌木 隆一

目次

- 2～3 新入生歓迎交流会
- 4～8 ボランティア活動報告会
- 9 先生インタビュー
- 10～11 サークルだより
- 12 教室だより
- 13 グループわ だより ジョイフルクッキング
- 14 文芸サロン : 俳句・川柳・応募作品
- 15 事務局だより 図書室だより 編集後記
- 16 Photo News : 新入生歓迎交流会・ボランティア活動報告会

情報誌編集委員会では、カレッジ内外の活動も含めて写真・記事の投稿をお待ちしています。

「爽風」への情報提供・ご意見は、次のホームページ「[☐お問い合わせ](mailto:info@ksc-sofu.net)」からお寄せください。

<https://ksc-sofu.net/> スマホからは右のQRコードを読み取ってアクセスできます。



第30期生 新入生歓迎交流会

第30期生の「新入生歓迎交流会」が、5月22日から24日にかけてカレッジホールで開催されました。29期生が企画・演出し、コース・専攻ごとに特徴のある心のこもった内容の交流会でした。

健康ライフコース

30期 八字 正登 大東 春樹

5月22日に新入生歓迎交流会がカレッジホールで開催されました。2年生および関係者皆さまには、この企画にご尽力いただきありがとうございます。

私ども30期のみんなは本年4月に入学して約1か月が過ぎ学園生活に慣れてきたところです。そんななか新入生歓迎交流会で気持ちをほぐしてくださり、学園生活は楽しいと励まをいただきました。



事務局長のお話ではKSC新入生の募集に苦労されていることも知り、学校を維持するのはたいへんだと感じました。

アトラクションではクラブの先輩たちが日ごろの成果を発揮し、楽しく面白い演技・演奏が披露されました。クラブも片意地を張らず自然体で行っているのがよく理解できましたし、新入生も気持ちよく見せていただきました。

最後にクラス代表の平澤さんより感謝のあいさつがあり、その中で30期生を将棋の駒にたとえ「金になる手前の銀(シルバー)」であると表現していました。

これからはカレッジのモットーである「再び学んで 他のために」を胸に刻み、今後の学園生活を元気で楽しく過ごしたいと思います。

国際交流・協力コース

30期 竹田 正俊 平山 重光

5月23日に新入生歓迎交流会がカレッジホールで開催されました。私たちは、諸先輩方や学校関係者の温かい拍手に迎えられて入場しました。

開会の辞に続き、美しいハーモニーで校歌とドイツ学生歌が披露され、歓迎会が開始です。



3年生代表のあいさつでは、学園生活におけるクラブ活動や健康管理の重要性についてアドバイスをいただき、また、2年生代表のあいさつでは、人生における笑いの重要性について、笑い体操を交えて説明いただきました。

2年生からは、「1年生思い出の授業」について、掛け合い漫才風やクイズ形式を交えた趣向を凝らした発表があり、

笑いのなかにも学びの大切さを認識させられた、素敵な内容でした。

歓迎アトラクションでは、人情味あふれた人形劇に感動し、また、フォークソング演奏では、懐かしい曲の演奏に合わせて手拍子を取り、一緒に歌い、大いに盛り上がりました。

最後に、30期生代表から、歓迎交流会開催に対するお礼の言葉と共に、来年は30期生が主催者になることへの心構えを持ち、これからの学園生活を有意義なものにしたいとのあいさつがありました。

新入生一同、皆さまのアドバイスを心に刻み、「再び学んで 他のために」をモットーに、これからの3年間を有意義に過ごしていく所存です。

生活環境コース

30期 佐藤 修一 松本 靖夫

5月23日に新入生歓迎会が28・29期の先輩方によって開催されました。来賓の紹介のあと、29期代表から生環は勉強の幅が広域的が絞りにくいが、無理をせず我を張らず適度に集中してかかるのが肝要との言葉をいただきました。

フロアでは各学年から3人が集って各9人の12グループに分かれて「懇話会」を行いました。アイスブレイクとして順次自己紹介を行い、所属クラブなどカレッジ生活の様子を話し、聴くという対話形式で進められました。懇話会のファシリテーターから事前アンケートの結果、新入生の多くがカレッジ生活を通して「他者との交流」を期待していることが紹介され、「楽しむことが最も大事」とのコメントをいただきました。



懇話会終了後、アトラクションではフォークソングクラブによる青春ソングの披露があり、ひととき若かりし頃を思い起こしつつ、楽しくみんなで歌いました。最後に新入生のクラス代表が、時間をかけて歓迎会を準備していただいた先輩方への感謝の言葉を述べ、今後心を引き締めて充実したカレッジ生活を送れるよう頑張りたいとの決意を表明しました。

懇話会終了後、アトラクションではフォークソングクラブによる青春ソングの披露があり、ひととき若かりし頃を思い起こしつつ、楽しくみんなで歌いました。最後に新入生のクラス代表が、時間をかけて歓迎会を準備していただいた先輩方への感謝の言葉を述べ、今後心を引き締めて充実したカレッジ生活を送れるよう頑張りたいとの決意を表明しました。

総合芸術コース（美術・工芸専攻）

30期 内田 裕幸 内田 厚子

5月24日、新入生歓迎交流会がカレッジホールで開催されました。2年生の「1年間の振り返り」では、これから我々1

年生が辿っていく道筋を示していただき、創作意欲が沸く一方、卒業するまでに同じような作品ができるか不安がよぎりましたが、先生方先輩方のご指導により、頑張っ



て研鑽していきたくと心新たにしました。各クラス代表からはウィットの効いたコメント、人柄を彷彿とさせる朴訥なお話、じゃんけんゲームなどそれぞれの個性のあるごあいさつをいただき、楽しい時間を過ごすことができました。

記念品として贈っていただいた「クロッキー帳」と「デッサンスケール」は絵画にはとても役立つもので、これから大事に使わせていただきます。ありがとうございました。

また、オールディーズクラブの皆さまの心温まる演奏、民謡同好会の皆さまの楽しい歌声と踊りで大いに盛り上がることができました。

最後に、今回歓迎会を企画していただいた諸先輩、事務局スタッフのご尽力に感謝するとともに、これからの3年間の充実したカレッジライフを送りたいと思います。

総合芸術コース（音楽文化専攻）

30期 永井 謙一 小谷 恵子

新入生歓迎交流会が5月24日に開催されました。3年生による歓迎あいさつにつづいて、2年生(アンダンテ29)による「この木なんの木」など3曲が演奏され、その息の合ったハーモニーとリズム感に魅了されました。



次はいよいよ1年生(フェルマータ30)の合唱です。お互いの名前もおぼつかない状態で、「一年生になったら」と「あの素晴らしい愛をもう一度」を選曲。限られた練習時間でしたが、なんとか混声三部合唱としてしあげ、無事に歌い終えることができました。出来はともかく、練習を重ねるたびにクラスとしての一体感を醸成できたことが何よりの成果でした。

次の3年生(昴28)は、3学年中の最少人数にもかかわらず、豊かな声量と高い音楽性で「学生歌」など3曲を演奏され、さすが最上級生と実感させられました。

次なる驚きは2年生演出によるアトラクションです。授業を面白おかしく再現したドラマ(コント?)や、クイズ大会、フラッシュモブ合唱など、その企画力と演技力には驚きと同時に来年へのプレッシャーを1年生全員が覚えたはずです。

心のこもった歓迎交流会の開催、本当にありがとうございました。楽しく有意義なカレッジライフの実現に向け、今後共

総合芸術コース（園芸専攻）

30期 小野 俊之 森本 薫雄

園芸30期生の歓迎交流会が5月25日にカレッジホールで開催されました。園芸専攻ならではの華やかな寄せ植え、諸先輩方、サポーターの方々、福岡さんらの大きな拍手に迎えられて着席すると交流会が始まり、29期生代表から温かい歓迎の言葉をいただきました。入学してまだ1カ月半ですが、「学生証の汚れは園芸専攻の勲章」のエピソードに頷いた30期生も多かったことでしょう。学園生活の紹介ビデオでは3年間で何を学ぶかを具体的にイメージすることができました。アトラクションとして披露されたKSC人形劇「ゆめ」、KSCオールディーズクラブ、KSCアロハハワイアンズの演技・演奏では、カレッジ生の活動分野の幅広さに驚きそのレベルの高さに感動しました。多彩なプログラムでの歓迎とマリーゴールドのプレゼントに感謝いたします。



新入生一同、諸先輩方からいただいたエールを胸に、催しやボランティア活動、クラブ活動にも積極的に参加して交流の輪を広げ、多くの仲間を作って充実した学園生活を送りたいと思います。

総合芸術コース（食文化専攻）

30期 浦本 博文 仙田 博子

新入生歓迎交流会が5月22日にカレッジホールで開催されました。29期の岩崎代表による開会の辞に引き続き、来賓代表として、元神戸女子大学家政学部准教授の清水典子先生から、有意義なカレッジでの生活を過ごされるようにとのごあいさつをいただきました。



引き続きアトラクションとして、バリバリの現役であるフラガールとハワイアンバンドによる演奏、哀愁の音色のオカリナ演奏となぜか「若者たち」の合唱、手品道具を落とすなどのコミカルな演出?があったマジックショー、流れるような演舞を披露いただいた太極拳などを堪能させていただくとともに、2年生から学園生活の紹介と調理実習のコツなどのショートコメントをいただきました。

その後、新入生代表として、最高齢90歳の前田さんから、あいさつがありました。前田さんは26期生で入学しましたが、コロナでカレッジが閉鎖になった無念の思いと今回再入学ができたことへの感謝を述べました。

新入生退場時には、上級生から新入生各自に手作りの「ラム酒漬けフルーツケーキ」のプレゼントがありました。生の熱演の舞台と、新入生の手拍子で盛り上がりました。

【ボランティア活動報告会(6月7日)】

はじめのことは

ボランティアセンター代表 木村 泉

「第26回ボランティア活動報告会」にお越しいただきありがとうございます。梅雨に入りましたが、バラの花やアジサイが次々と美しい花を咲かせる季節です。



シルバーカレッジは1993年に開校しました。そのあと1995年に阪神淡路大震災で大きな打撃を受け半年以上休校となり、救援物資

の集積所となりました。その中で多くの学生が自主的にボランティア活動に参加するようになり、授業が再開されてから、ボランティアグループの連絡会である「ボランティアセンター」ができました。シルバーカレッジの建学の精神である「再び学んで 他のために」のもと、このボランティア活動は自然な流れでした。

今日の「ボランティア活動報告会」は、日ごろのボランティア活動の成果を発表するとともに、地域でボランティア活動を行う日として実施されたのが始まりと聞いております。

カレッジホールでは、パワーポイントによるグループの紹介とパフォーマンスを行います。ふれあいホールや教室では、作品の販売、展示、体験コーナーを行っています。

バラやアジサイがきれいな季節です、とお話しましたが、工藤直子さんの「のはらうた」という詩集のなかに、「ばらのつぼみに のぼった とんだ むぎの ほさきに のぼった とんだ おひさまよ おひさまよ ぼくは あなたが だいすきだ」というてんとむしまる君の詩があります。

今日はこの詩のように皆さんもジャンプして大好きなものに近づいたり、大好きなものを見つけたりする一日にしてください。では、ゆっくりお過ごしください。

学長あいさつ

神戸市シルバーカレッジ学長 前田 潔

会場を見ますと30期の方が多くですが、4月初めの入学式から2か月経ち、シルバーカレッジの授業を静聴できているでしょうか。

入学してから本日が一番大きなイベントになります。26のボランティア団体がボランティア活動を報告することになっています。ボランティア活動にはさまざまなパフォーマンスがあります。一つは皆さんが歌や踊りなどの趣味を楽しむ、それと同時に、そのパフォーマンスをボランティアとして高齢者施設や



障害者施設で観ていただくことで慰安・慰労の社会貢献への参加があります。高齢者施設の入所者はあまり変化のない生活が続くので、そういうところにボランティアの訪問があると入所者の皆さんはたいへん喜ばれます。ぜひ訪問していただき入所者の皆さんと楽しみを共有していただきたいと思います。

30期の皆さんのパフォーマンスの技術はまだ未熟でミスもあるかもしれませんが、やがて2年生3年生になると見事なパフォーマンスを発揮してくれることと思います。今日は一日出演者の皆さんと観て下さる皆さんがともに楽しい時間を過ごしてください。

おわりのことは

ボランティアセンター総務部副部長 小谷 勝

皆さま、第26回ボランティア活動報告会を無事に終えることができましたこと、心よりお礼申し上げます。前田学長を



はじめ神戸市福祉協議会の方々にお集まりいただき、グループ活動の状況報告やパフォーマンス、作品の紹介や販売を行いました。

本校の建学精神である「再び学んで 他のために」と

いう理念を実践するために、ボランティア活動の成果や取組を発表する機会を設けました。今回の報告会も多くの方々からご支援頂き心から感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの猛威も収まりつつある中で、私が代表を務める陶芸グループに新長田にある高齢者施設「そよ風」より陶芸の指導をして欲しいとの要請があり、昨年12月よりボランティア活動を実施してきました。最初、11人の方に1人500gの粘土でお碗、お皿の作陶を手伝い、その作品を持帰り本焼きまでを行い施設にお届けしました。施設利用者には当然喜んでいただいたのですが、施設介護員および施設長が「へえーこれ使えるやん、凄い」とびっくりされました。後日、施設長より「私もしたいと言う施設利用者が増えましたよ。次回は15人をお願いします。」と連絡がありました。

陶芸クラブは外部でのボランティア活動を実施し、神戸市社会福祉協議会にボランティア活動助成交付を3月15日に申請し5月19日に交付決定通知書を頂きました。

自分たちがやってきたボランティア活動を発表し認めていただくのは嬉しいものです。

今回の報告会で得た励ましと支援を胸にさらなる活動への意欲を高めていきます。今後も地域のため、他のために貢献していく所存です。最後に、ご参加いただきました皆さま、本当にありがとうございました。

ボランティア各団体の活動報告

ボランティアグループ26団体とNPO法人グループわ から日頃の活動成果が、カレッジホールではパワーポイントやパフォーマンスにより、ふれあいホールや教室では展示・販売・体験コーナーにより報告されました。

【パワーポイントによるグループ紹介】

◆KSCスポーツ吹矢グループ

健康29期 今山 隆

スポーツ吹矢は、日本古来の吹矢を、腹式呼吸法を積極的に用いる健康法と融合し競技性とゲーム性を持たせて発展させたものです。その効果は心身の健康はもとより、美容面から社会性にいたるまで、シニア世代にとって嬉しいものばかりです。コロナ禍で滞っていたボランティア活動は、感染防止を考慮した市販吹矢セットを用いて春秋のしあわせの村の子供向け行事に参加し好評を得ました。今後楽しみながら活動を広げていく予定です。



◆ケナフの会

生環29期 木村 泉

ケナフの会はケナフを種から育て、染物、紙漉（す）き、炭にいろいろな利用しています。ボランティア活動報告会では、パワーポイントによる活動の紹介、ケナフ製品の販売、紙漉きの体験教室を行いました。押し花で飾った葉やはがき、絞りで模様を付けた手提げ袋が好評でした。紙漉きコーナーでも作品作りを楽しんでいただきました。夏はケナフがぐんぐん成長する季節、見学をお待ちしています。



◆NPO法人グループわ

グループわ 広報 中塚 賢

グループわ は、シルバーカレッジの「再び学んで 他のために」の精神を実践するシルバーカレッジ卒業生と現役生の皆さんが活動する団体です。

令和5年の会員数は1172人（5/27現在）で、9つの区会と5つの部会に属するボランティアグループが活動しています。また、こうべ市民福祉振興協会と共催開催の「わいわいストリート」「夏休み工作塾」「ピバ！ハロウィン」、教育委員会からの委託事業の「学校園支援」など幅広い活動をしています。皆さんも一緒に活動しませんか！



【パフォーマンスによるグループ紹介】

◆人形劇「ゆめ」

健康29期 能 喜栄子

今年の「ボランティア活動報告会」は昨年の学園祭でデビューした「泣いた赤鬼」を上演し皆さまに楽しんでいただきました。現在12人の部員が賑やかに活動していますが、今年の学園祭は検討の結果「鬼の忘れ物」という演目に決定しました。「鬼」続きとなりましたが、「ゆめ」の鬼は一味違う鬼に仕上げたいと現在部員一同準備作業中です。人形劇は演者だけでなく、大道具、小道具、人形の衣装作りなど、いろいろな作業も大事な仕事です。限られた時間内に一つの作品に仕上げている過程は人形を操る以上に楽しい時間でもあります。今年も、皆さんに人形劇を楽しんでいただけるように部員一同頑張ります。人形劇を一緒にやってみたい方いつでも大歓迎です！



◆KSC男声合唱団

音文29期 佐野 修

本年も「ボランティア活動報告会」が開催され、日ごろの活動を発表する場となりました。KSC男声合唱団は、昨年10月の第8回定期演奏会を成功裏に終えて以降、今回の報告会や学園祭、さらに介護老人福祉施設などへの訪問演奏に向け、常任指揮者の石原先生、ピアニストの阪田先生から基本的な歌唱指導を受けながら、「皆さまに喜んでいただけるように」をモットーに、学生13人にOBを加え60数人にて日々練習に励んでいます。このたびの報告会では「大空と大地の中で」など3曲を披露し、練習成果を確認するよい機会ともなりました。引き続き今後の活動に活かし楽しみたいと思います。



◆KSCマジック同好会

食文29期 浅田 勝彦

昨年度はコロナの影響がある中、5件のボランティア活動を行うことができました。また、3年ぶりとなるマジックの祭典が10月に開催され、マジック同好会から8人が参加しました。



このたびのボランティア活動報告会では舞台デビューの1年生5人を加えた総勢11人がマジックを披露し、大きな拍手をいただきました。今後も楽しく！をモットーに、たくさんの技を習得し、ボランティア活動に、学園祭でも、楽しんでいただけるマジックを目指したいと思います。

◆混声合唱団コーロKSC

国際29期 津村 新

皆さまの心に届く、混声合唱団コーロらしい合唱を目指して、学生・卒業生あわせて42人が歌いました。まずドイツで生まれた「学生歌」、次いで戦後の街を平和の象徴として明るく歌った「花の街」、次に映画でお馴染みの「エーデルワイス」、最後に井上陽水の「少年時代」をご披露しました。いかがでしたでしょうか？



本年11月4日には創立30周年を記念した定期演奏会を神戸文化ホール・大ホールで行います。皆さまのお越しをお待ちしています。

◆KSCアロハハワイアンズ

食文29期 井上 克彦

4月から6月にかけて、新歓中庭パフォーマンス、国際盲導犬デーin神戸、離宮公園ライブ、きたきたまつり、神戸まつり、新入生歓迎交流会（3コース）、ボランティア活動報告会に出演しました。7月には老人施設訪問（3か所）の出演が決まっています。コロナが収束してボランティア活動が増えることはたいへん嬉しいことです。今後は、新入部員（9人）と共に、パフォーマンス力を高めるように精進し、さらに活動の場を拡げたいと思います。



◆あかりの会

生環28期 岡 君子

ステージで力いっぱい出し切ったメンバーは自信に溢れていました。植田先生の魂のこもった指導をしっかりと学んで、毎日練習を重ねた末の達成感、喜びの笑顔で記念写真に納まっていました。現代物と歴史物の二作品を演じられたのもよかったです。「文学ってステキ！ 物語るって面白い、朗読って楽しい」私の今の気持ちです。



◆手話ソング

健康29期 長井 信三

手話ソングは、歌詞を手話で表現します。新規入会者が少なく、ちょっと寂しい感じでしたが、先生を中心に全員がまとまって演じることができました。1年生にとっては初舞台となり、観客が手を動かして同調してくれるのを間近に見て、手話に対する関心が高いこと、そして自分の演技に自信と誇りが持てたと思います。引き続き、学園祭に向けて練習がスタートします。皆さん、一度見学にお越しください。



◆楽遊グループ（銭太鼓）

健康29期 瀧本 博子

今回のボランティア活動報告会はコロナによる行動制限も緩和され、マスクを外して思い切り演技できたと思います。報告会直前の神戸まつりへの参加、報告会直後の福祉センターへのボランティアと演技曲を覚えるのがたいへんでしたが、ボランティア報告会では大勢の皆さんに観ていただいて拍手を頂きたいへん励みになりました。銭太鼓を観るのが初めてという方にも銭太鼓の活動を知っていただけてよかったです。



◆KSC民謡同好会

生環29期 三好 恭子

毎週金曜日に練習している民謡同好会です。今年はマスクも取れ、思ったよりも客席が埋まり、皆さまの手拍子・お囃子・踊り・大合唱で楽しいひと時を過ごさせていただきました。3曲目の九州炭坑節では、踊りの輪に観客席から多数入っていただき、総勢60人余りの方々が三味線の音も聞こえなくなるくらいの大合唱で大盛り上がりになりました。本当にありがとうございました。



◆フォークダンスグループ

生環28期 小田 定子

「笑って 楽しく 華やかに！」をキャチフレーズに、OBの方々と共に月4回金曜日の午前中に、しあわせの村「たんぼの家多目的ホール」で、フォークダンス協会の先生の指導のもとに活動しています。OB会の「すみれグループ」



は、長年のボランティア活動が評価されNPO法人グループわ 第20回総会で表彰されました。ベテランOBの方々が頑張ってきた努力の賜物です。練習を一度見に来ませんか？懐かしい青春時代を思い出して、世界各国の曲に合わせてフォークダンスを踊りましょう！

◆KSCハーモニカグループ

国際29期 水谷 忠清

今回のボランティア活動報告会は、6人のOBと在校生8人の計14人が羽瀧講師の指揮のもと、「われは海の子」「ドナドナ」「銀色の道」「若者たち」の馴染み深い4曲を演奏し、大きな拍手を頂きました。今後も毎週の練習に励み、校内での演奏会はもとより、近隣施設へのボランティア演奏会も続けていきます。現在、新入部員は少ないので誰でも簡単に演奏できるハーモニカのすばらしさを在校生に伝えて入部していただくよう、部員一丸となって頑張る所存です。



【ふれあいホール パネル展示・作品展示・販売他】

◆KSC国際交流友の会

国際29期 名定 博

ハンドクリームや宇治茶などPHD協会の商品を委託販売しました。ハンドクリームは、ブルキナファソの女性たちの自立を支援するため、その国で作られるシアバターを日本に輸入しハンドクリームに製造・販売している団体の商品で、PHD協会が扱っています。収益は現地の医療・公衆衛生・教育の強化のために使われ、また現地の雇用と収入が生み出されています。商品の販売には、各国の民族衣装を着た当会の会員も参加しました。



ハンドクリームや宇治茶などPHD協会の商品を委託販売しました。ハンドクリームは、ブルキナファソの女性たちの自立を支援するため、その国で作られるシアバターを日本に輸入しハンドクリームに製造・販売している団体の商品で、PHD協会が扱っています。収益は現地の医療・公衆衛生・教育の強化のために使われ、また現地の雇用と収入が生み出されています。商品の販売には、各国の民族衣装を着た当会の会員も参加しました。

◆「ガーデニング」グループ

園芸29期 小野 スミエ

「花と緑を愛する人々に癒しと感動を」ガーデニンググループでは、3月に種まきをし、花苗を育ててきました。卒業生のグループ「オルレア会」が育てたものと合わせて1500ほどの苗を準備しました。花の名前や育て方を聞かれたときにすらすらと答えられる花づくり名人を目指したいですが、まだまだです。開店前から並ぶ人がいて順調な出だしでした。今、ちょうど咲いている花や蕾ができていますヒマワリなどが人気です。一緒に花を育てませんか。



◆茶道部

健康29期 上羽 良信

新入部員14人を迎え、指導者含め部員数29人となり、ボランティア活動をこの春から再開しています。ボランティア活動報告会では、カレッジホールのパフォーマンス運営や進行支援に2年生を中心に積極的に参加しました。

部OB支援者の協力を得て、カレッジ2階和室に設けたお茶席に、前田学長はじめ、来賓、多くの皆さまをお迎えし、薄茶と和菓子を楽しんでいただきました。部員が役割を分担協力して、お茶会と報告会を盛り上げることができ、貴重で得難い経験をさせていただいた報告会でした。学園祭もおおいに楽しみです。



◆ボランティアクッキーの会

生環29期 辻上 質吉

6月2日にクッキーを焼いて6月6日に包装という作業段取りが台風2号のために狂ってしまい、6月6日に全工程を完成させなければならなくなりました。助け舟はOB会で、事前にオープン入れ直前の状態までのものを製作し、6月6日早朝から現役数人と10人以上のOBの方々に手伝っていただき、600袋が完成しました。6月7日の当日、販売は朝から順調で昼過ぎには完売しました。



◆シルバーケーキの会

生環29期 八尾 芳樹

ボランティア活動報告会においてココアケーキの販売を行いました。材料の買い出し、ケーキ作り、包装と、2年生が主体となり伝統のココアケーキを作ることができました。今年は原材料費が前年より10%アップ、しかし販売価格は据え置き、さらに衛生管理の徹底やケーキ作りに専門家からのアドバイスもいただきました。そして1年生の販売力もあって500個のココアケーキはお昼には完売しました。皆さま本当にありがとうございました。秋の学園祭にはまた出店します。おいしいココアケーキをご賞味下さい。



◆こども文化

生環28期 柳 佐知子

こども文化は諸事情により、今回の「ボランティア活動報告会」には参加できませんでした。私たちはボランティア活動の一環とし

て、昨年に続き「ふれあいホール」において6月29日から7月7日まで七夕飾りを行ないます。期間中は皆さんの願いごとを短冊に込めて、笹につるしたいと思いますので、ぜひご参加ください。



◆KSC英語点字グループ

国際29期 吉本 慎一

英語点字は、皆さんが「難しい、私にはできない」とよく言われますが、そんなことはありません。簡単にできます。専用ソフトを使い、パソコンでアルファベットを打つだけです。それが、点字本になり誰かの役に立ち、自分の喜び・やる気につながります。今年も、2月に東南アジア11か国16団体に全29巻点訳本を寄贈しました。現在OBの皆さんを含め40数人の方々が活動しています。在校生は9人で内新入生が4人新たに入られました。一度クラブを覗いてみてください。お待ちしております。



◆KSC書道部

音文29期 辻 順子

新学年始動とともに始めた活動報告会の作品制作は、現役生6人が2点ずつ個性を「書」に写しだした多種多様な作品を作り出し、展示することができました。書道部では師範資格者のOBを中心に、高齢者施設や児童館にて「習字教室」を開いています。その参加者数は毎月130人を超える活動です。その中でも今春「井吹台児童館」で新1年生の可愛い児童67人が参加し書道を楽しみました。対応した師範は嬉しい悲鳴をあげたようでした。一人でも多くの教え子が書に親しみ、いつか共にこの活動報告会に参加し作品を展示できる日が来ることを望んでいます。



◆救急ボランティアしあわせ

美工29期 中谷 茂樹

われわれ救急ボランティアしあわせの活動は、月次の例会でAEDを用いた心肺蘇生の練習や三角巾を用いた怪我の応急手当の練習を行い、学園祭などのイベント時に救護班として待機することが主な活動でした。しかし、最近はクラブOBと連絡をとり、「グループわ」を通じて子どもの日イベントやNPO法人「神戸救急グループ」を通じて神戸まつりのイベントに救護班として参加しています。また、某国立大学にてAED使用実習の支援を行うなどボランティア活動の場を広めつつあります。部員数は少ないですが、やりがいを感じられるクラブです。

◆KSCイベントぴかぴか隊

生環28期 林 源登

5月28日、4年ぶりに開かれた「神戸まつり」にボランティアとして参加、暑い中会場案内、清掃作業を行い、神戸市の皆さまに感謝されたと思います。

今後神戸市内で開催される予定の「神戸マラソン大会」「ルミナリエ」「阪神淡路大震災1.17のつどい」などに参加を計画しています。神戸のイベントが輝きよき思い出となりますよう皆さまのぴかぴか隊への参加を期待しています。



◆KSC木工ボランティアグループ

食文29期 酒造 敏廣

木工グループの現役&OB会員が製作した木工品、約350点の展示・販売を行いました。カレッジ学生の皆さんに木工品に触れて木肌のぬくもりを感じていただけたなら何よりです。参加制限が緩和される10月の学園祭までに、新たな作品の製作に取り組んでいきます。



◆陶芸ボランティアグループ

美工28期 小谷 勝

今年の初めより、ボランティア活動報告会に向けての準備ができました。展示品は二重掛けなど、持てる技術を駆使し個性あふれる作品を展示しました。訪れた学生さんより釉薬掛けなどについての質問を多数頂き、熱気あふれるふれあいホールとなりました。販売品については、どうすれば売れるかを相談し約200点用意し過去最高の売上高を上げたこと、メンバーの自信となりました。



◆絵画ボランティアグループ

美工29期 三浦 隆明

当グループでは今年度21人の新規入会者(28期生/29期生を含む)を迎え、月3回の例会では各人、切磋琢磨、絵画技術の向上に取り組んでいます。今回の報告会には新入生も多くの作品を提出され、おかげで絵葉書89枚、フォトフレーム(今回からの初めての試み)14個、A4額付き小作品24枚を購入していただき、自分の作品が売れることは今後の活動の大きな励みになりました。





国際交流・協力コース 水野 マリ子先生

神戸大学名誉教授 文学修士(大阪外国語大学)。ご専門は中国語学と日本語教育学。お生まれは神奈川県横浜市。お父様の転勤で新潟、金沢、京都などに転居され、現在は大阪府吹田市在住。

Q：先生のご研究について教えてください

大学での専攻は中国語学です。語学を志した理由は、子供4人のサラリーマン家庭で決して裕福ではなかったため、自立の手段が必要でした。このため世界中で使われる人数の多い、中国語を学ぶことに決めました。中国語を選んだもうひとつ理由は、中国びいきだった父の影響もあります。

大阪外大を卒業後、通産省の外郭団体で、日本語教育に従事しました。当時、台湾から多くの技術者を日本で教育するプロジェクトがあり、中国語のできる人材が必要だったためです。1980年に大平首相訪中のお土産として設置された、日本語教師を再教育する、いわゆる「大平学校」に世話役として北京に3年間赴任しました。その後20年間、神戸大学で留学生教育を担当し、大学院では「コミュニケーション論」「日本語教育」をテーマに教鞭をとりました。

Q：本学で先生が学生に伝えたいことを教えてください

KSCの存在は知っていました。さぞゆとりのあるお金持ちのサークル活動かと思っておりましたが、3年生のグループ学習の指導を担当し、生徒の皆さまが知的好奇心旺盛で真面目に

課題に取り組む姿勢に考えを改めました。とても羨ましい制度と環境であると感じています。

これまで、「琉球王国」「日本のムスリム」「朝鮮通信使」「台湾と日本の関係」などのテーマについて、グループ研究のお手伝いをしてきました。今は、「台湾の半導体産業」「日本の外来料理」のテーマについて、研究の方向性などを助言しています。

国際交流に当たっては、歴史的背景を含めて各地域の状況を正確に理解し「日本の良さを押し付けをしない」こと、専門外の人にもわかる「やさしい日本語でわかりやすく説明する」ということが肝要であると伝えていきたいと考えております。

Q：ご趣味など、お仕事以外の楽しみを教えてください

料理を作ることと食べること、飲むことが好きです。料理のレパートリーは中華料理が多いですが、他にも和食、イタリアンなど様々です。お酒はビール、ワイン、焼酎など、幅広く楽しんでいます。

また、車の運転も好きです。吹田IC近くの自宅からこちらのKSCや、外国人児童の学習支援をしているポートアイランドの地域交流センターなどへは、愛車のHONDAグレースを駆って走りまわっています。 (30期 平山、竹田)



音楽文化専攻 中村 真実先生

神戸市出身。相愛大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。リサイタル、室内楽、オーケストラとの協演。また合唱や声楽などの伴奏者としても多数出演。現在、神戸山手女子高等学校音楽科の講師を務めると共に、中村真実ピアノ教室で幼児からシニアまで幅広い世代の指導にあたる。

Q：音楽、ピアノとの出会いは？

3歳の時、デパートのおもちゃ売りのピアノから離れなくなった私を見て、母がピアノを習わせてくれたのがきっかけです。小学校2年生の頃には、音大に行って音楽の道に進みたいと考えていました。

Q：音楽の醍醐味を味わえた一番の思い出は？

大阪のザ・シンフォニーホールでオーケストラと協演をした、サン・サーンスのピアノ協奏曲第5番の演奏です。普段は緊張しがちなのですが、練習を通じて、お客様にぜひ聴いていただきたいとの強い気持ちが湧き上がり、私自身も心から音楽を楽しめました。特に第3楽章では気持ちと演奏が一体化し、満足感と達成感を味わえた最も思い出深い演奏となりました。

Q：音楽以外の時間はどのように過ごされていますか？

休日はほとんどないのですが、時間をやりくりして週に1～2回はジムに筋トレをしに行っています。ピアノの演奏はもちろん、レッスンや講義もやっぱり体力が基本となりますので。なかなか思ったように筋肉はついてくれませんが(笑)。

たまの休みには神社仏閣や博物館めぐりでリフレッシュしています。最近では伏見稻荷や三十三間堂に行きました。

Q：カレッジで教えることになった経緯と授業内容について

1996年に、斉田先生(*注)指揮の合唱を伴奏させていただいたのが最初です。その後、音楽理論の基礎知識も必要ではとの話になり、2001年からその講義を担当することになりました。授業時間は限られていますし、皆さんの背景に個人差もありますので、全体としての満足度向上は難しいテーマですが、リズム練習などの実技も取り入れて楽しんでいただけるよう工夫しています。

*注 斉田好男先生：神戸大学名誉教授、KSCカリキュラム編成委員。

Q：カレッジ学生へのメッセージをお願いします

皆さんの学ぶ意欲がすごい、というのを実感しています。しかもパワフル。お元気で3年間続けられて、ぜひその後も、クラブ活動などで日々を楽しんでいただきたいと思います。

(30期 永井、小谷)

KSCフォークソング・クラブ “懐かしのあの頃の歌を一緒に演奏しませんか”

食文29期 平峯 泰治

「KSCフォークソング・クラブ」では、「明るく・楽しく・元気よく」をモットーに約30人の部員が、毎週放課後に全体練習や学年別練習を行っています。

フォークソングは、元々民謡や民族音楽から生まれたものと言われていますが、1960年代にアメリカでブームとなり、日本でも1960年代後半から70年代にかけて若者世代を中心に大ブームが起こりました。

当クラブでは、日本のフォークソングをはじめとし、アメリカンフォークから最近の曲まで幅広く演奏しています。学園祭などの校内発表会では全体演奏が中心ですが、クラブ内のフォークソング発表会では、個人やグループで演歌や青春歌謡、グループサウンズなども楽しんでいます。楽器は主にギター、ウクレレが中心ですが、他の楽器も曲に合わせて演奏しています。

私は、昨年春に入部したのを機にギターを購入し、毎週の練習や先輩方によるギター教室などを通じ、指の痛さに耐えながら少しずつですがコードも弾けるようになりました。今では、はるか半世紀前に井上陽水やかぐや姫、グループなどのコンサートに行った頃のたいへんだったクラブ活動や苦い失恋を思い出しつつ楽しく演奏しています。

部員それぞれレベルも違うし目指すものも違いますが、自己満足でも構わないので、それなりに気持ちよくできたらその日の夜のお酒はおいしいものです。

これからも学園祭などの発表の場で、少しでも皆さんに楽しんで一緒に歌ってもらえるよう、皆で日々練習に励みたいと思っています。

放課後、校内のどこかからフォークソングが聞こえてきたら、ぜひ一度覗いてみて下さい。

そして懐かしい青春のあの頃に戻って、ぜひ一緒に歌い演奏しましょう！

いつでも部員一同参加をお待ちしています。



KSC謡曲クラブ 銀謡会 “謡（うたい）で健康寿命を延ばしませんか？”

国際29期 辻本 雅夫

謡の初歩は、「まずお腹の底から大きな声を出すこと」です。これは血の巡りをよくするだけでなく、細胞の一つ一つが活性化し若返るのです。結果、健康寿命が延びるというわけです。一曲歌い終わると、じんわり汗がにじみます。

では「謡って？」

お能は日本の古典芸能のルーツです。きらびやかな装束、端正な所作や舞、鼓や笛のお囃子とともに、ストーリーを進めていく声楽が謡です。

歌詞は掛詞や和歌の引用があって、工夫が凝らされた文章です。繰り返し読んで聴いて謡っていると、だんだん体に沁みてきます。それとともに気分もよくなり、周りの人は眠くなってきます。ただ聴いているだけでも、アルファ波に満たされ脳の活性化につながるというから驚きです。

現役クラブ員は、カレッジで初めて謡を始めた人ばかりです。OBの親切な指導で徐々に謡えるようになってきました。みんなどうとう地謡と、ソロの主役、脇役を交代で練習します。

声の出し方、謡本の読み方、節回しなど疑問を出し合ってワイワイやる「サロン」を月1回行っています。

先輩方と合同で、練習した曲を披露する「定例会」が月1回あります。1年生だけ

でなく、2、3年生もご入会ください。伝統芸能が生涯楽しめますよ。

- 初めの方も楽しく謡えます。
 - 毎週木曜に学内グループ学習室で(月4回)
 - 毎月第4日曜の午後はOBと合同の定例会
 - 月会費 1,000円 (入会金なし)
 - 謡本などの教材はクラブ内に揃っています。
- どうぞ見学においでください。



あかりの会 “朗読グループです”

生環29期 徐 美子

火曜日は朝起きた時からちょっと緊張気味です。あかりの会の例会があるからです。今日はどんな新しいことを教えていただけるのだろう、とワクワクするような期待と高揚感も含めた緊張感です。月2回、先生が出席される日はあつという間に時間が過ぎてしまいます。先生の熱い指導に、向上心あふれる会員たちは一言も聞き洩らすまいと耳を傾け、多くを吸収しようと努め、緊張しつつも楽しく練習に励んでいます。

右は新入生勧誘活動時の掲示パネルです。みんなで意見を出し合っただけで、飾りを付け加えてこんなに綺麗に仕上がりました。その甲斐あってか新会員も増え、心強い限りです。



毎月、施設などで紙芝居や絵本読みのボランティア活動もしています。回を重ねるにつれ利用者さんも楽しみに待ってくださるようになり、私たちも力づけられています。5月末には初めてハーモニカグループとコラボ訪問しました。下はその時の写真です。



6月のボランティア活動報告会と10月の学園祭で練習の成果を披露します。その次は12月に《オープン朗読会》を開きます。各自が好きな作品を自分なりの自由な読み方で発表する会です。多くの方に聞きに来ていただきたいと思っています。その時はクラブ掲示板でお知らせしますので、ぜひお越しください。

ボランティア・クッキーの会 “「お菓子好き〜あつまれ〜」”

生環29期 辻上 質吉

作る楽しみ・贈る喜びをモットーにクッキー作りに励んでいます。ボランティア・クッキーの会は、男女を問わずだれでも入会できます。会費、入会金はゼロ円です。

会員数は、5月末現在総勢26人です。月に1回の例会を開いています。例外的に複数回のこともあります。

手作りのクッキーを持って、児童施設やその他、慈善団体を友愛訪問しています。

「いつも持ってきてくれるクッキーおいしいわ。また持ってきてね!」と子供たちに言われると本当にうれしいです。友愛訪問先の方からお礼状も届けられています。皆さまにたいへん喜んでいただいていることを実感します。

友愛訪問先としては、長田こどもホーム、双葉学園、ワークフレンズみくら作業所、よかよかクラブ、みんなの食堂なかみち・こみち、グインホーム、愛神愛隣舎、盲導犬協会、神戸実業学園、夢のこどもホーム、ライオンズファミリーホーム、同朋学園などです。

カレッジでのボランティア活動報告会及び学園祭ではクッキーの販売を行っています。その売上金をボランティア活動に役立てています。

クッキーを焼き上げた後しばらく放熱する時間があります。

その時間を利用してお菓子作りの研修会を行っています。講師はKSCの先輩



の方です。チーズケーキ、マドレーヌ、フルーツゼリー、パウンドケーキ、ロールケーキ、シュトレンなどいろいろなお菓子の研修を行います。

「ボランティア・クッキーの会」はカレッジ現役の活動団体で、「クッキーの会」は、社会還元センターグループわ に所属する、

カレッジの先輩たちの活動団体です。この二つの団体は常に助け合って活動しています。カレッジを卒業してからもグループわ に所属して、クッキーの会を続けてい



らっしゃる方もたくさんおられます。こんなに有意義な会を見逃すことはないでしょう? まだ加入いただいていない方はぜひご入会ください。

美術・工芸専攻（楽しい!!）

美工29期 毛利 恵己子

私たち29期は、全員和気あいあいとクラス一丸となって授業に集中し、たいへん楽しいです。進級してはや3か月、「2年生が中心になって」という言葉もよく耳にし、すでに学園祭に向けての役割分担も気になるところです。

2年の授業目標は「基礎からのステップアップを目指し、展開のある創作・実践活動につながるよう学びを広げる」です。



絵画授業は、昨年暮れから待望の油絵が始まり、人物画と静物画に分かれて制作に取りかかっています。皆さんレベルが高く、私はアップアップですがたくさんの学びがあります。

陶芸授業は、先月初めて電動ろくろを体験しました。下手は下手なりに、助言を受けながら自分の手で何かができ上っていくのは、素晴らしい楽しい時間です。

また、歓迎交流会の準備に、まとめ役の熱意に呼応して、班変え直後のクラス全員が自分のできることを通して協力し合え、今のクラスの仲間意識の深さにつながっています。

美術・工芸専攻（初めての作品作りに熱中!）

美工30期 前田 龍夫

初めての美工専攻の講義は、赤松先生による「陶芸」、最初のテーマは「手びねりで碗を作る」でした。スケッチブックに描いたデザインの碗を作るべく、粘土の手びねりから始めました。丸めた粘土を手回しろくろの上のせて、指で穴をあけて碗の形にしていきました。

次の講義では、乾燥させた碗の底の部分削って「高台」を作り、その後は、素焼き～下絵付け・釉掛け～本焼きとすすんでいく予定です。削りの際は穴があかないか、素焼き・本焼きでは割れないか、どんな色に仕上がるかなど不安で一杯ですが、一方でどんな作品に仕上がるか楽しみです。



「絵画」の最初の講義は勅使河原先生による絵画の基本として、鉛筆によるうす塗りから濃い部分へのグラデーションから始まりました。その次の講義では、鎌田先生にご準備いただいたワインボトル、やかん、果物などのモチーフを鉛筆で描き、次の講義では水彩絵の具で色付けする予定です。講義の最後には、全員の作品を並べ、全員で鑑賞します。

絵画は、中学以来久しぶりに描く人、ある程度経験のある人などさまざまですが、それぞれの絵に個性があり、素晴らしいです。入学以来約2か月が経過しますが、陶芸・絵画ともに皆さんの作品作りへの熱意に圧倒されています。

園芸専攻（花咲か爺さんだより）

園芸29期 佐伯 直彦

園芸専攻の活動範囲は学習室8での授業が基本ですが、農園の畑や果樹の棚・ビニールハウス、そして玄関前の花壇やバラ園での実習など広範囲です。

学園祭には園芸専攻3学年合同で出店し、自主畝で育てたさつまいも、種から育てた花苗や野菜苗などを格安で販売します。また、学園祭の玄関を彩る花看板やジャンボカボチャを育てて飾り付けるなど学園祭の飾り付けに参画しております。

園芸専攻29期は男性10人、女性15人の少数精鋭のクラスですが、3班にグループ分けし班員が協力しあって、畑や果樹の管理、花壇の世話をしています。育てた野菜や果物の収穫物をおいしくいただくの楽しみに汗をかきながら頑張っています。特に花壇は玄関正面の3区画で目立つところなのでいろいろ工夫して栽培計画しています。通りがかりの方に「きれいね」と言っただけなら感激です。これからもシルバーカレッジの花咲か爺さん、花咲か婆さんとして頑張っていきます。



園芸専攻（植物の魅力に取付かれた仲間たち）

園芸30期 梶原 正樹

30期の園芸専攻34人が入学して2か月がたちました。講義と園芸実習及び日常の育成管理で忙しすぎと思っている人、週2回程度の講義では物足りないと思っている人、それぞれです。ひとつ確かなことは、30期生が3班に分かれ、何をするにも班ごとに「ああでもない、こうでもない」と相談しながら活動していることです。最近では花壇計画書を作成し、実際に花を買って計画書に基づいて植え付けました。成長した花壇を思い描いての作業は最高の楽しみです。ラディッシュの栽培では、プランターと露地で収穫物の大きさに歴然と差が出ました。その差の原因を水か肥料か天候か意見を出し合い、最終的には科学的な数値検証も参考にして原因を追及することは、自身の園芸能力を大きく向上させる勉強になったと思います。

今後、いろいろな野菜・草花を育てるつどに皆で話し合う機会が増すこととなります。季節が梅雨から夏になり、園芸作業にとって過酷な日々が続くかもしれませんが、そのことが班員同志や他の学生たちとの結束を強めることになり、園芸を学ぶ楽しみが増えると期待しています。



グループわ だより

第20回定期総会開催（5月27日午前）

総会は理事長のあいさつに続き、こうべ市民福祉振興協会の山本康生会長、シルバーカレッジの黒田徹事務局長に来賓あいさつをいただき開会しました。令和4年度の活動報告・決算、令和5年度の活動方針・予算、理事選任が736人（委任状含む）による審議・決議をもって承認されました。総会に引き続き令和5年度功労者表彰お



よび理事長表彰式が行われました。今年は、6人の個人と3つのグループが表彰されました。

交歓会開催（5月27日午後）

交歓会では、16組のクラブ・グループがカレッジホールで演技・演奏をしました。ふれあいホールではお茶のもてなしや会員の絵画展・北区会趣味の会の作品展示など8組の参



加がありたいへんにぎわいました。展示は6月2日まで継続されました。

グループわ で一緒に活動しませんか。
在学中でも入会可能・大歓迎です！
活動の詳細は、Web サイトへ
<http://wa-net.jp/group-wa/>



上田 悦子先生のジョイフルクッキング

いちごのムース



《材料》 グラス約 4 個分

いちご	1 パック (350g)
グラニュー糖	100 g
水	125cc
レモン汁、グランマニエ	各大さじ 1
粉ゼラチン	大さじ 2 (15g)
生クリーム	200cc (35% 100cc 45% 100cc)

《下準備》

- 小さなボウルに水90ccを入れ、粉ゼラチンを振り入れて混ぜ、10分ほどおいてふやかしておく。
- いちごは洗ってヘタをとる。飾り用として2粒を5mm角に切る。残りのイチゴは、万能漉し器で裏漉しし、なめらかなピューレにする。

《作り方》

- 鍋にグラニュー糖、水を入れて弱火にかけ、木べらで混ぜてグラニュー糖を溶かす。沸騰直前に火を止めて、レモン汁、グランマニエを加えて混ぜる。ふやかしたゼラチンを鍋に加え、木べらで混ぜて溶かす。
- 1)にb)のピューレのイチゴを加えて混ぜ、ボウルの底を氷水に当てて混ぜながら粗熱をとる。
- ボウルに冷えた生クリームを入れ、ボウルの底を氷水に当てて、泡だて器ですくい上げるとぼったりと落ちる程度に泡立てる。
1/3量をたねに加えて、手早くむらのないように混ぜる。残りも同様に混ぜる。グラスに注ぎ分けて、冷蔵庫で2時間ほど冷やし、固まったら飾り用のイチゴをのせる。

《先生からのコメント》

作り方の2)で冷やし過ぎないこと。生クリームと合わせる時滑らかに混ぜらなくなってしまう。

(食文29期 白井)

《俳句クラブ》

【兼題】四季の俳句



御所の湯の唐破風屋根や花菖蒲	谷口 裕
雨に濡れ石に貼り付く桜しべ	戸田 文章
読み聞かす絵本机上に金魚鉢	佐野 貴代美
凜とした一人静の舞ひ姿	山田 浩子
永き日やゆるりと回る花時計	貞刈 茂
母の日や予約してます美容室	寺尾 隆志
幾本の綱幾百の鯉幟	奥山 繁男
白南風や海の香残す駅ホーム	千足 恵美子
皮剥けば筍淡く輝けり	村上 泰民
軽鳴の子ら明日は早瀬を上れるや	中井 芳樹
恐竜の化石出るとや山滴	大高 松男

《川柳くらぶ》

自由句



ポケットにマスク残して衣替え	渡辺 かおる
贅沢も節約もせず今になる	渡辺 かおる
青梅とシソの葉映えるガラス瓶	名定 博
努力義務ミサイル用のヘルメット	名定 博
ベンツのフロントガラスに鳥の糞	佐藤 眞巧
微力だが無力ではない夢を追う	北川 都
濃霧かな遠くの山がすりガラス	北川 都
害虫に美味しく食べられ腕痒し	進藤 たか子
照れました下手なオカリナ褒められて	進藤 たか子
吹きガラス歪む心を映し出し	千足 千
縋り付くロープの先に父の腕	千足 千

《応募作品》

川柳

ころぶとき早く言ってね避けるから
 肩貸した私が先によるけけり
 気がつけば医者是我より皆若し

寺尾 隆志 (美工28期)

俳句

薫風や首脳の背中平和込め

諫山 一彦 (美工29期)



俳句・川柳募集中!

投稿はこちらから



事務局だより

◆7月・8月の閉館日のお知らせ

7月24日(月)～25日(火)、8月1日(火)、8月7日(月)、
8月21日(月)～25日(金)、8月31日(木)
以上の日は原則として学内への立ち入りはできません。

◆図書室の閉館日のお知らせ

7月24日(月)～8月31日(木)まで閉館です。

図書室だより

一年生の皆さまもそろそろシルバーカレッジに慣れて来られたのではないのでしょうか？新型コロナも5類に移行することによりコロナ前の日常生活に戻りつつありますが、この機会に図書室をのぞいてみてください。良き本との出会いで今までの閉塞感を吹き飛ばしましょう。「新着図書」や「おすすめ図書」のコーナーも人気があります。きっと夢と希望が広がりますよ！

<新着図書>

・『今度生まれたら』

著者-内館 牧子 出版社-講談社
(913)・・・小説、物語

・『塞王の楯』

著者-今村 翔吾 出版社-集英社
(913)・・・小説、物語

・『ポタニカ』

著者-朝井 まかて 出版社-祥伝社
(913)・・・小説、物語

閉館期間中は、貸出書籍の返却のみ事務局にてお預かりいたします。

◆台風などにおける気象警報発令時の対応

午前8時の時点で神戸市域に気象警報が発令されている場合は休校です（学生便覧Ⅱ学習の手引き、休校の項参照）。なお、休校の際は、当校のホームページの「緊急のお知らせ」で連絡します（<http://kobe-sc.org/>）。個別の連絡は行いませんので、テレビやインターネット等の気象情報に注意してください。

・『進化する里山資本主義』

監修-藻谷 浩介 出版社-ジャパントイム
(601)・・・産業政策・行政、総合開発

・『江戸の女子旅 旅はみじかし歩けよ乙女』

著者-谷釜 尋徳 出版社-晃洋書房
(384)・・・社会・家庭生活の習俗

・『調べる技術 国会図書館秘伝のレファレンス・チップス』

著者-小林 昌樹 出版社-皓星社
(007)・・・情報科学

・『有明海のウナギは語る 食と生態系の未来』

著者-中尾 勘悟 出版社-河出書房新社
(664)・・・漁労、漁業各論

・『油絵ノート 基礎編(みみずく・アートシリーズ)』

視覚デザイン研究所 出版社-視覚デザイン研究
(724)・・・絵画材料・技法

※ 注：出版社名の後ろの括弧書きの数字(〇〇)は、十進法による内容表記に基づくものです。

お詫び

情報誌『爽風』令和5年5月号に掲載しました次の記事におきまして、誤りがありました。

■ 4ページ「入学感想」生活環境コースの記事執筆者のお名前

(正) 山田 カ (誤) 山田 実

● 10ページ サークルだより

ダーツクラブの訂正原稿が反映されず、元の原稿のまま掲載

ご迷惑をお掛けしたことをお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。



編集後記

6月に入って間もないころ、新入生歓迎交流会も終わり閑散としたふれあいホール。4月に入学したばかりの30期情報誌編集委員2人と打ち合わせをしました。これから「先生インタビュー」の取材です。2人にとって初インタビュー。心配しながら見守りましたが、しっかりとこなしてくれました。このようにこの7月号は、取材・原稿依頼・原稿作成のほとんどを30期生が行いました。とまどいながらも、精一杯知恵を絞って原稿を仕上げました。彼らにとって初原稿が紙面を飾ります。(情報誌編集委員会)

新入生 歓迎交流会

2023年5月22日～25日



会場入口風景



健康ライフコース アトラクション



国際交流・協力コース 会場風景



生活環境コース アトラクション



美術工芸専攻 会場風景



音楽文化専攻 新入生合唱



園芸専攻 集合写真



食文化専攻 退場風景

ボランティア活動報告会

2023年6月7日



陶芸品販売



絵葉書-小作品販売



木工品販売



鉢・花・苗販売



国際交流友の会



書道作品展示



茶道部・お茶会



ケナフの会・紙すき体験



KSC人形劇「ゆめ」



KSCマジック同好会



混声合唱団コーロKSC



あかりの会



楽遊グループ (銭太鼓)



KSC民謡同好会



フォークダンスグループ



KSCハーモニカグループ



グループわ 展示